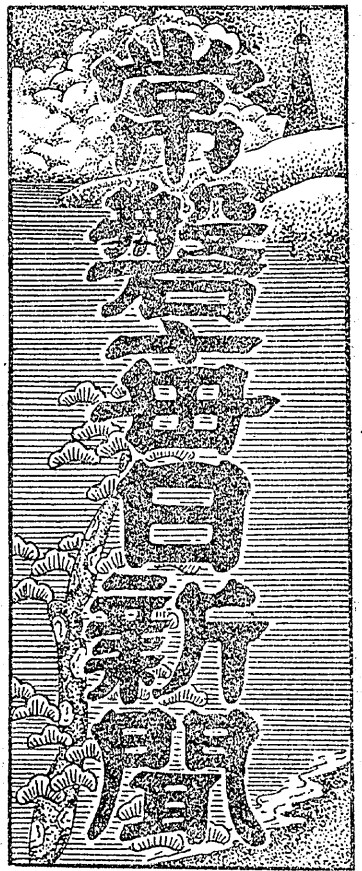


【刊夕日九十月八】



定 價 一 圓 二 角 五 分
一 月 十 五 日 郵 政 特 准 掛 號 認 可
社 址 青 島 市 滄 口 路 一 號
電 話 三 〇 七 番
代 理 所 青 島 市 滄 口 路 一 號
發 行 所 青 島 市 滄 口 路 一 號

若き日本の使命

池田生

諸君、試みに地圖を開いて見よ！太平洋は實に世界最大の海洋にして、これを分ちて即ち濠洲諸島を分界線として南北太平洋とするのである、而して今日所謂太平洋時代とは主として此の北太平洋を中心として現出されつゝあるのである、北太平洋を取り巻いて居る大陸を見ると、東一帯は南北兩米大陸で西方一帯は亞細亞、南方は南洋諸島及び濠洲の大陸である。思ふに其の昔地中海に發達した文化が歐洲に擴がり、歐洲より大西洋を渡つてやがて亞米利加大陸に上り、更に太平洋を渡つて今や盛んに亞細亞へ亞細亞へと押し寄せて居る、又五千年の昔印度及び支那に發達した東洋の文化は一度影をひそめてアジヤの森林の中に隠れて居たが今や再び姿を現はし彼の曙光を滿身に浴びて太平洋を渡つて來る、西方

文化の粹を採り入れ茲に偉大なる世界文化渾一化の大業が成就されんとする、而してアジヤ文化を代表し之れに西方文化の粹を入れて、世界文化渾一の大業を成し遂げんとするものは抑々何處であるか。そは云ふ迄もなく我が「若き日本」でなくてはならぬ諸君帝國の太平洋に於ける位置を見よ、眞に是れ天の與へられた好位置であり天の與へられた恩賜であることと感ずる、即ち太平洋を一つの扇と見れば日本は恰も其の要に當り、開閉唯々日本の心の儘である、所詮太平洋の要は世界の要なりと云つても敢て差支無いと信する、更に又アジヤ大陸の方より見れば日本は恰もアジヤの防波堤の如く北はカムチャツカより南は台灣迄、縦々一千二百里、更に其の四圍を見渡すならば西より西南はオホーツク海、日本海、支那海を以て取巻き東北より東南にかけては漫々たる太平洋を以て圍まれてゐる、斯くて日本と本土がアジヤの大陸より切り

常磐文藝

「象」

吉野かほる

暗と光は
ともに死の使
和やかな力もて
するくくと
もがくことも
悲しみも知らぬ赤子は
他愛なく微笑みて
死の淵に這い寄る

看護婦急派
の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番



景品付賣出

一、景品 東京日本橋 白木屋 化粧石鹼
一、期間 昭和五年十月卅一日迄

一、一升瓶詰一本 (一、二〇〇) 毎に一個宛進呈

〇空瓶は一本二十錢に御引受け致します

販賣店

平町新川町 谷口商店
同 材木町 緑川商店
同 長橋町橋際 小野商店

平町以外各町村一店宛特約販賣の求めに應ず

發賣元 平町田町 永山酒店
電話二〇七番

眼鏡 蓄音器
トキハヤ
平町一丁目

涼しい

藤椅子
卓子
寢臺
簾屏風の

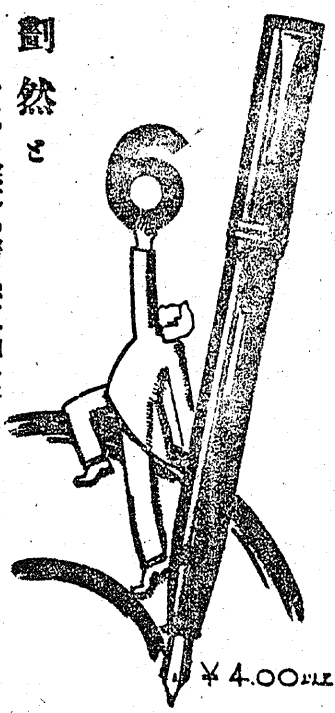
見切特賣

平町一丁目

和久井屋
漆器店
電話四〇五番

國勢調査に 國産パイロット 標準六種ペン附
五年間保證 金ペンの耐久 實に廿五年乃至卅年

及パイロット高級ボールペン



¥4.00以上

新 作 製 本 並 登 記
・ 青 島 市 滄 口 路 一 號

平町研町公園前
特約店 佐々木商店
電話二三三番

最新式高級

セタン型二臺購入

自動車通のお客様は
斷然この車をお撰び致します
高級車でも破格の料金です
是非一度御試乗を！

マツザキタクシー

電話番號は 獅子ヶ
四四九

外科専門

花柳病
木村外科醫院
入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

簡美 七里の山道を 眞夜中に歩み

無事に點呼を受けた 感心なコック君

相馬郡福浦村生れ豊福太郎 (三)は郷里を離れて栃木縣宇都宮市のある洋食店にコックとして働いてゐるが本年は簡閱點呼を受けなければならぬのに気がつき直ちに市役所へ行つて問合はせたところ、栃木縣内は既に終つてゐると聞かされ點呼は何處で受けても差支へない規定なので一縷の望みを抱いて隣縣土浦町へ至つたがあと十日も間があるといふ聞き自分の仕事上あまりゆつくりもしてゐられないので福島縣平町は今点呼中だと教へられて遂に平町まで來てしまつた、それは去る

財政緊縮の折 可成りの重荷

選舉名簿と國勢調査で 平町役場コボす

平町にては明年行はれる府縣會議員總選舉に棄權を防止する爲め來月十五日現在を以つて調整される選舉人名簿は一々各戸に就き實地調査の上作成しなければならぬ處へかへて、加へて十月一日には第二回國勢調査といふ面倒な調査を控へて居り既に緊縮の餘地さへなく吏員の簿給や人手不足を嘆

もの、財源の約半額を占めて居る國庫及び縣の補助金が像定年度内に收受し得ない状態にある爲め歳入に大缺陷を生じ目下補充策に苦心中心であるが結局役場新築

理髮料の値下

却て値上の奇現象

場末や二流所の理髮店は 遣り憎いと陳情

先般理髮業者組合總會の結果既報の如く料金の値下を斷行したが新規定料金の嚴守を勵行するとすれば場末や二流所の理髮店はやつて行けない、といふのは從來でも四十錢の所を實際は三十錢にしてゐたればこそ客もあつたのが新料金を三十錢で之を嚴守するとすれば五錢の値上げとなるので此の實行は困難であるから

産業組合 擴充を決議

役員會で

石城郡産業組合にては十七日午後八時から小名濱小學校に於て役員研究會を開き左記事項を決議した、産業組合は現下の經濟界に對し左記の如く善所するを適當とす、役員は先し組合

平町趣味界

スポーツ界の五人男 評判の五人男 斯界の寶物阿部君 平町はテニスの町

平町スポーツ界の五人男と云へば先づ第一に阿部政右衛門さん、この人は運動の事といふと必らず引張り出される人氣者、今度新設する野球協會の會長に押されると

休業日廢止

小野田坑盛況

石城郡磐崎村小野田炭礦は三井炭礦の休山に依つて石炭の注文一時に増加し毎月五、十日の休業日を廢止して出炭率の増進に努むる事となつた

極貧者施與

神谷村の僧侶

石城郡神谷村下片寄通照寺住職小林善隆師は極貧者救濟に當てんが爲め平町に白米一俵神谷村に同二斗を寄附した由

腹部を轢れ

幼兒が即死

石城郡小名濱町白屋業正長

女福永ヤス(口)は昨日午後四時頃同町佐々原直義の轢く荷馬車に腹部を轢かれて即死した

丁度父の一週忌に 同じ場所 で溺死

不思議な廻り合せ

石城郡高久村下高久字中島七二常吉孫鈴木桂藏(キ)は去る十七日叔父の神奈川縣川崎市小學校教員鈴木七郎と共に滑津川の下流で水遊中溺死したが同所は昨年同月同日に父善衛が溺死した場所である所から附近では冥土から父の迎へを受けたものであらうと噂して居る

平町 人事

出生 △久保町一九吉田部善雄氏長女 △八幡小路七二長谷川清氏長男 雄 △月見町一五伊藤淳氏二男昭次

募集

文藝其體投稿 募集します

消息

ツカと坐つて今日のはまるでヘラの機だ、それから自轉車の織田さんだが既にこの地方撞球のトップを切つた事は讀者氏御承知の通り傍らバットを眼に物見せずに置かない、振つたりする日に焼けた凄腕は次ぎに

一寸

見た所では黄顔の美少年住吉屋本店の源ちゃん、アレデ柔道三段有段者、相撲と來たら親ゆづりであの人の獨舞台とは開くからに小氣味が好い、また運動具店の御主人大塚さん御商賣柄平運動界とは切つても切れぬ仲、店先にド

無難

な所だらう。野球に右坂、テニスに根本といふやうに其の他あるにはあるがどうも五人男の圈内ではない、二年ばかり前に平俱樂部といふスポーツ

石城郡小名濱町白屋業正長 石城郡高久村下高久字中島 石城郡磐崎村小野田炭礦 石城郡神谷村下片寄通照寺 石城郡小名濱町白屋業正長 石城郡高久村下高久字中島 石城郡磐崎村小野田炭礦 石城郡神谷村下片寄通照寺



明日のラジオ 二十日 西の風晴れところに依り夕立

△前六・二〇 夏期獨逸語講座 第廿七講 小田切良太郎
△前七・〇〇 英語會話速成 講座 第十五講 エフ、エイチ、シー
△前九・一〇 料理献立「ソリス類」朝倉長吉發表
日用品値段「野菜類」
△前一〇・三〇 家庭講座「二味線の手はしき」(三) 赤星ヨウ
△後〇・〇五 浪花節「俵屋玄蕃」東家燕之助
△後一・〇〇 ヨリ
△後六・〇〇 マデ
運動競技 全國中等學校野球大會試合狀況(阪神沿線甲子園球場ヨリ)中継
△後六・〇〇 子供の時間
童謡獨唱「夏の雲」其他 獨唱半井英子 ビアノ伴奏 奏藤田喜典子
△後六・三〇 ことばの講座 第十五講 東京帝大教授 文學博士 藤岡勝二
△後七・二五 趣味講座「發聲映畫に就て」萬見丈夫
△後八・〇〇 管絃樂とトラムベツト獨奏「ハンガリア國歌」其他 東京ラヂオオーケストラ トラムベツト獨奏 指揮 前田璣
△後八・三〇 清元 詠梅松 清元 清元巴榮太郎其他
△後九・〇〇 映畫物語「關の彌太ッペ」中村聲波
△後九・四〇 時報 氣象通報 生駒相場 番組預告

新小唄

三味線 三味線 三味線 明 子 代 子 明 子 代 子

◆葉巻節 (松村又一作詞) 紀州熊野の木挽さんはえきたよ、椿葉巻をすばくとアリヤサイヤッサ、コリヤサノサッサ、椿葉巻をすばくと、サッサ
ほんにあの娘も椿で巻いてよ、すふてやりたやすばくと、すふてやりたやすばくととサッサ
以下離子同
椿葉巻も、手馴山にやよ巻けぬ、村の娘さも、すぐりや落ちぬ、村の娘さも、

(海)の唄 海はあけぼの、ハア、ホイヤサノサ、茜の空よ、波に千鳥が、アレマタ、ホイヤサ波に千鳥がないて飛ぶ (ハヤシ)ドドンガホイヤサ、アレマタ、ドドンガドンドン、
釣に行くのか、ハア、ホイヤサノサ、鯉を釣りに、今朝は船頭さん、アレマタ、ホイヤサノサ、今朝は船頭さん向ふむき (ハヤシ同)
海がなきたら、ハア、ホイヤサノサ、蛤ふみに、さそひまじよかアレマタ、ホイヤサ、さそひまじよかあの方

戀の火の鳥ハア、ホイヤサノサ、燕の鶴よ、すいてすかれて、アレマタ、ホイヤサ、すいてすかれて海渡る風に吹かれて、ハア、ホイヤサノサ、すいてすかれて髪か、すいてすいて、アレマタ、ホイヤサ、すいてすいてはなした

山は朝焼け、ハア、ホイヤサノサ、殿御のお立ちなんでこの馬、アレマタ、ホイヤサ、なんでこの馬、引けまじよか、チリンガホイヤサ、アレマタ、ホイヤサ、チリンガリンリン、(以下ハヤシ略す)
今日もひぐらし、ハア、ホイヤサノサ、かなかなと、来ない便りをアレマタ、ホイヤサ、来ない便りをわたしや待つ

赤穂の浪士前原伊助、松坂町吉良郎の近所へ蕎麥を賣りに行きて吉良郎の様子を探る内、寶藏院管槍の名入俵屋玄蕃と知り合ひとなり名をかかして指南を乞ふ内、お互にそれを知りつ、云はずに過す内討人の前夜伊助は玄蕃に別を告げに行きしに、玄蕃はそれを知り心まことに待つてゐると山鹿流の陣太鼓に、槍を片手に

浪花節

俵屋玄蕃

赤穂の浪士前原伊助、松坂町吉良郎の近所へ蕎麥を賣りに行きて吉良郎の様子を探る内、寶藏院管槍の名入俵屋玄蕃と知り合ひとなり名をかかして指南を乞ふ内、お互にそれを知りつ、云はずに過す内討人の前夜伊助は玄蕃に別を告げに行きしに、玄蕃はそれを知り心まことに待つてゐると山鹿流の陣太鼓に、槍を片手に

吉良郎の表門へ駆けつけ、玄蕃義に依り蔭の助勢をすと云ふ一席。
ソースの料理 朝倉長吉發表
アユムニエール、ソース レムラード
▽材料(五人前)スキートピクルス(酢漬の甘胡瓜)三本、パセリ五枚、玉葱中一個、マヨネーズソース五勺、鮎五六寸のもの十尾、サラダオイル又はバター二勺、鹽、胡椒少量
▽調理法、鮎の腹ワタを取り去り水洗ひして水氣を取って置きます、次に鮎にメリケン粉をまぶし、フライパンに、サラダオイル又はバターを入れて火にかけて、鮎を入れ中火で狐色になる迄焼きます、出来上りましたら二匹宛盛りレムラードソースをかけて供します。

活版印刷の御用命を御願ひします
鮮美 印刷
明鮮美 印刷
鳴可速敏
所刷印日每警常
五三町橋長町平
(器〇三六話電)

専門 内科一般
宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五(元大和田耳鼻科跡)
川井内科診療所
電話 七二二二番
醫學士 川井重之
女 醫學士 川井安子

貸切の御用は 料金低廉なる
磐城 タクシーへ
電話 四五四番
平 驛 前

耳鼻咽喉科専門
場所 (舊診療所裏通り)
合津醫院
平町仲田町(電話五五九)
先づ夏の健康には
定評ある栄養價
豊富なる鰻料理
南町平館隣
魚 榮
電話 四二四番

近代的百パーセントの
尖端を切る此の逸品!

姉妹品
歌舞伎石ケン 半打五拾錢
一個拾錢

玉の肌石鹸
半打八十錢
一個十五錢

優雅な匂ひ素的な感じ
買ひ良き店

モリタヤへ
5丁目 電 353

入院隨時

原町 齊藤病院
電話一二九番

内科 醫學博士 木村小太郎
小兒科
婦人科
×婦人科 院長 齋藤 齊
×光線科

食用水氷販賣

速敏達配



魚問屋

目丁四平
屋問魚屋市丸
番三一二話電

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平町南町(舊診療所向)電話一七〇番

大和田醫院

入院需應

藤沼醫院

平町紺屋町
電話圓平五〇七番

江戸前料理

美味で評判の良い
鳥料理

ぜし一度御試食下さい

出前迅速 錦水

田町末廣東隣り(電話四二二番)
(呼出八〇三番)

食事は サロン
奉仕は サロン
僕等の サロン

サロンの公休日は毎月「第三火曜日」に変更致しました

清楚な食堂 サロン
電三五二

田町通り

外科内臓外科
耳鼻咽喉科
産婦人科

福島縣浪江町
山村醫院
電話一一四番

清楚な サロン
明るい サロン
洋酒は サロン

御中元御贈答品には
贈るに御便利・貰つて御事寶な

三井の商品券

三井呉服店

三井 徳島 藥局
電話三〇〇番

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

蓄音器の大市

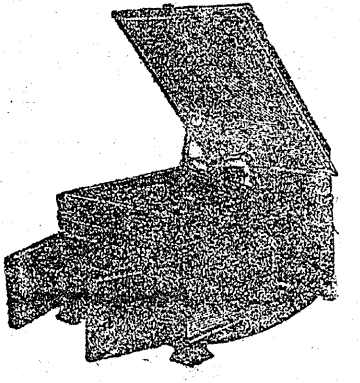
壹百臺限り此際愈々元價提供

特賣期間 自 七月廿五日
至 八月廿五日

毎土曜日店頭にてレコードコンサード開
催致します ドーズ御聞き下さい

警城銀行隣り
天地堂

◆音譜在庫品常に豊富



一滴のチキンソースはよく消化を助け食慾を増進せしむ



チキンソースは一般向きの嗜好に適する様精糖完全成せられたもので極めて風味よく西洋支那料理は勿論野菜天ぷら魚類總ての揚物に用ひて一層美味です

夏のアツサツした御料理にチキンソースの一滴は忘れられないもの、一つで特にこのソースに依つて消化を助け食慾を増し

殊に氣候の變目の不健康時に殺菌力の偉大なる此の調味料は絶対安全食に缺くべからざるものである

食料品の店頭此の商品なきは一種のヘテであり家庭では缺くことの出ない常備品です

東京本所林町
荒井吟醸

特約店 海老屋商店 平町 田町 電話二三五番